

『星野資料（五年制）』資料目録
2016.10 東京大学法学部大村敦志研究室

表中の色つきの資料は大村敦志「法学部五年制問題と星野英一——星野英一研究資料（その一）」（法学協会雑誌133巻10号，2016年10月）において言及されているもの。
黄色は上記論文において「星野メモ」として星野作成の資料。なお、「星野メモ5」は、『星野資料（五年制）』に含めなかった資料中（ファイル「法学部における検討」）にある。

①年限延長問題 新聞，雑誌論説				
	日付	新聞・雑誌名	記事タイトル	備考
1	1966/2/7	東京大学新聞 (以下，東大)	・大学の自治と学生の自治【4】終—東大「見解」をめぐって ・韓国に見る大学統制—大学自治擁護は両国共通の課題 その他	福田敏一 伊ヶ崎暁生
2	1966/10/28	朝日	・東大 5年制大学へ一歩 法学部に3年コース 来秋実施 専門教育充実ねらう	
3	1966/10/28	朝日（夕）	・「素粒子」に「東大法学部に三年コース。のんびりやろうなどではさらさらしない。一に学問への熱意の現れ、と解釈する。」	
4	1966/10/29	朝日	・「社会戯評」に「継ぎ足す 東大法学部に3年コース」と題するイラスト（横山泰三）	
5	1966/10/29	朝日（夕）	・コラム「今日の問題」に「東大プラン」	
6	1966/10/31	東大	・年限延長の方向確認 久保法学部長，カリ問題で語る 一部商業誌報道に誤り ・早朝見解を表明 10・21，学生部隠し取り，大学院問題	
7	1966/11/5	朝日	・投書欄「声」に「当を得ない東大の改革」	
8	1966/11/10	毎日	・東大法学部「一年延長」打出す	
9	1966/11/10	読売	・”大学五年制”実現へ—「早い機会に」東大法学部長	
10	1966/11/10	朝日	・東大法学部5・年・制 広い視野・判断力を 学部長らが構想発表	
11	1966/11/10	日経	・専門課程の三年制 京大でも検討 久保東大法学部長語る	
12	1966/11/12	朝日	・投書欄「声」に「大学五年生は具体化に意義」 ・投書欄「声」に「六・四・四制と九月新学期を」	
13	1966/11/14	東大	・東大の見解まとまる 大学院設置基準 分野の特殊性を重視 具体性に欠ける常識論 ・大学院設置基準の問題点に関する意見—東京大学—	「穂積父子を忍ぶ 財団十周年で講演」の記事あり。
14	1966/11/15	国会議事録		
15	1966/11/16	朝日	・文部省は消極的 東大法学部の五年制構想	
16	1966/11/21	朝日（夕）	・専門課程延長は必要か 東大法学部五年制案の波紋 <上>	
17	1966/11/22	朝日（夕）	・専門課程延長は必要か 東大法学部五年制案の波紋 <下>	
18	1966/12/5	東大	・かみあわぬ論議—法学部，年限問題でシンポ	
19	1966/12/8	朝日	・司法修習生制度は廃止—田中法相談	
20	1966/12/9	朝日	・4年制高校提案の裏側 めざすは生徒の人間復興 消化できぬ教育内容 コース別入試も検討	

21	1966/12/11	朝日ジャーナル	・早野透「まず教育内容の改革から」、谷川久「前向き姿勢で」	該当記事はpp. 4-5「読者から」欄への投稿。早野は東大法学部学生、谷川は大学教授。ほかに、日大・一橋・慶応の年限問題類似の問題に関する動向についてのメモが挟まれている。
22	1967/1/16	東大	・大学問題、三つの焦点を考える—新制大学院の問題、一般教育の目的、法学部年限延長構想	
23	1967/2/3	朝日	・文部省、大学教育を再検討—専門課程の三年制など	

②年限延長問題 他からの反応				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁、備考
1	1966/12/18	朝日ジャーナル	・星野英一・坂本義和「法学部の『年限延長』について」	該当記事はp. 4「読者から」欄への投稿
2	1967/7/10	学内資料(秘)	「文部省説田大学課長らとの会談メモ」平野・加藤	B4, 1枚 タイプ。 7月5日平野・加藤が文部省説田大学課長らと話し合った報告。
3	—	学校教育法	第五章「大学」第52～57条3項までのコピー	B5, 1枚 コピー。
4	1954/3/27	文大大第231号	「国立大学専攻科について」(文部省大学学術局長稲田清助発, 東京学芸大学長宛)	B5, 4頁+昭和42年度東京学芸大学専攻科学生募集要項B4, 1枚
5	1965/5/13	学内資料	「I-1 学年延長の要否についての抜萃」	B5, 1枚 タイプ。
6	1965/6/30	学内資料	「I-2 学年延長に関し残された問題点抜萃」	B5, 1枚 タイプ。
7	1967/10	学内資料	「学部教育制度改革についての経済学部の意見」	B4, 1枚 タイプ。
8	1966/4/5	官報	各大学の学部・学科の分類	官報号外第41号のコピー。 B4, 11枚。同じものが2部あり、一方のみホチキス留めされている。
9	1965/6/30	学内資料	「新制学生年度別留年者・本学士入学者数調」表	B5, 1枚 タイプ。
10	1968/5/24	緑会発行物	「第42回五月祭共同企画 東大法学部”栄光と恥辱”の九十年—法学教育と法学部の民主的な改革のために—」(東京大学法学部緑会委員会, 同緑会委員会制度改革問題小委員会, 同駒場クラス代表者会議)	B4, 表紙+目次+本文35頁+資料4枚+参考文献目録1枚+十年表6頁。本文は活字で論文の体裁, それ以外は手書き謄写版。下の資料とホチキス留めでまとめている。
11	1968/3	緑会発行物	「東大法学部の民主的改革のために—教授会による『五年制案』の批判的検討—」(42冬期緑会委員会制度改革問題小委員会)	B4, 表紙+30頁。手書き謄写版。第2刷。発行日の記載はないが, 「第二刷へのはしがき」に「今年三月, 全国大学ゼミにむけて」作成された旨が書かれている。第2刷の日付は1968/5/25。上の資料とホチキス留めでまとめている。
12	1967年度夏期	緑会ニュース	・臨時号「総括特集号」	B4, 1枚, 両面, 手書き謄写版。裏面に「制度改革問題」についての報告あり。裏面の末尾は<続く>となっているが, 星野資料にあるのはこの1枚目のみ。
13	1968/1/12	緑会ニュース	・「制度改革小委を再び招集することについて」	42年冬期緑会委員会発行, 週刊第5号。B4, 1枚, 両面, 手書き謄写版。

14	1967/1/20	緑会発行物	「法学部制度改革問題小委員会に参加しよう！」	B4, 4頁, 手書き謄写版。23日開催の第1回会議への参加呼びかけと, これまでの経緯や学部長談話などをまとめた内容で, 「東京大学法学部制度改革問題に関する資料No. 1」とある。
15	不明	学内資料	国立大学専攻科の資料	コピーをB5, 10頁にまとめたもの。各国立大学の専攻科名や定員, 修業年限等の一覧表。
16	不明	学内資料	同上	同上。表紙に「2」という朱色のスタンプがある。
17	1967/12/7	学内 招集の通知	「教授懇談会12月例会のお知らせ」	B5, 1枚, タイプ。12月19日例会の話題「ふたたび教養課程と専門課程について」の話題提供者4名中に星野英一が含まれている。
18	不明	学内資料 (秘)	「法学部専門課程における試験制度および採点方式についてのアンケート回答一覧表」	B4手書きコピー2枚。no. 1とno. 2の2枚をホチキスで留めてある。
19	1968/2/15以降	学内資料	「大学院日本育英会奨学生調」昭43. 2. 15調	B4, 1枚 手書き・タイプ。青ペンで手書きの書き込みあり。
20	1968/4/22以降	学内資料	「大学院研究科別定員・入学者数等調 (昭41・42・43年度)」昭43. 4. 22調	B4, 1枚 タイプ。青ペンで手書きの書き込みあり。
21	不明	学内 (配付用)	法学部各類 (私法・公法・政治学コース) の科目, 単位, 配置学期	B4, 1枚。履修案内から必要な頁を抜き出してコピーしたもの。8部ある。
22	不明	学内資料	「留年経験者に関する調査結果」	B5, 1枚。手書きの表のコピー。留年経験者の人数と留年の理由のアンケート結果をまとめたもの。
23	不明	学内資料	各国講義科目比較対照表	B4, 手書き・タイプ。「資料2 各国講義科目比較対照表」5頁, 「講義科目比較対照表 (2. 政治関係)」8頁。東大法学部とハーバード大学・ロンドン大学・パリ大学の講義科目の比較対照表。

③教育計画 議事メモ				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	不明	メモ	「学部制度委員会 綴 (1)」	B5, 6枚。青ペン手書き。昭和38年11月13日 (第2回委員会) から39年4月16日 (第11回委員会) までの制度委員会のテーマと配付された資料について, 日付と摘要をまとめている。
2	不明	メモ	「学部制度委員会 綴 (2)」	B5, 7枚。黒ペン手書き。同上, 昭和39年4月23日 (第12回) から40年2月24日 (第25回) までの分。
3	1965/5/11	学内資料	「学年延長の可否について (案)」	B5, 11頁。手書き コピー。星野筆跡 (星野メモ1)。
4	1965/6/24	学内 (配付用)	「学年延長の可否について (2) —フリートークのまとめと今後の問題点」	B5, 6頁。手書き コピー。星野筆跡。5部ある。

5	1965年2月	東大法学部	「教育研究計画についてのアンケート」昭和40年1月実施，昭和40年2月整理	B4, 表紙+凡例+目次+本文77頁+裏表紙。タイプ。法学部の教育研究計画について行った第1回目のアンケートの回答を整理したもの。教授・助教授39名が対象。鉛筆・青ペンで目次の訂正などあり。
6	1967/3/18	学内資料（秘）	「年限延長案の比較表」	B4, 1枚。手書きの比較表+学校教育法第五章のコピー。
7	不明	学内資料	「専攻科の問題点」	B4, 1枚, 手書きコピー。青ペン手書きの書き込みあり。
8	不明	学内資料	法学部の類別についての案・カリキュラム案	B4, 9頁。手書き コピー。2部ある。
9	1968/2/1	学内資料	「制度的年限延長のための過渡的諸方策とその問題点」（竹内・三谷）	B4, 1枚 タイプ。青ペン+万年筆の手書きの書き込みあり。「資料4」のスタンプあり。
10	—	学校教育法など	・学校教育法第五章 ・大学の専攻科又は別科の修了者について ・大学専攻科に関する設置基準要綱 ・別科に関する申合せ ・専攻科，別科の名称に関する申合せ ・国立の学校における授業料その他の費用に関する省令 ・日本育英会法施行令 ・学校・救護施設指定取扱規程 ・教育職員免許法	関係法令のコピーを冊子状に綴じたもの。B5, 12頁。
11	1968/2/15	学内資料	年限延長についての田中英夫意見書	B4, 9頁。手書き コピー。万年筆で書き込みあり。
12	1968/5/24	学内資料	年限延長についての村上淳一意見書	A4, 3頁。手書き コピー。冒頭に「学年延長のためのいわゆる暫定案につきまして，5月9日と23日の教授会で私見を述べる機会を得ましたが，必ずしも意を尽くしませんでしたので，ここに私見を整理して提出させていただきたいと存じます。」とある。

④学年制，学期区分

	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁，備考
1	1965/4/8	学内資料（秘）	「新設講座について」	B4, 3頁 タイプ。「秘」は手書き。
2	1966/4/9	原稿	「学年制について」	B5, 6頁。手書き原稿。星野筆跡（ 星野メモ2 ）。
3	同上	学内（配付用）	同上	上記資料をコピーしてホチキス留めしたもの。2部ある。
4	1966/4/14	学内資料（秘）	同上	B5, 10頁。上記資料をタイプしたもの。黒ペンで修正が入っている。
5	不明	学内資料	「IV 学年制，試験」	B5, 5頁。手書き コピー。
6	不明	学内資料	「学期区分について気のついたこと」	B4, 表題の文書1枚+資料3枚，いずれも手書きのもののコピー。

⑤年限延長

	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁，備考
1	1965/5/11	学内資料	「学年延長の要否について（案）」	資料③-3と同一。

2	1965/5/13	原稿	「学年延長の可否について」	B5, 13枚。黒ペン+赤ペンで推敲された手書き原稿。上記資料をさらに書き改めたもの。タイトルに「(案)」とあったのを後から黒塗りで消してある。
3	1965/6/24	原稿	「学年延長の可否について(2)ーフリートーキングのまとめと今後の問題点」	B5, 6枚 手書き。資料③-4および下記資料の元原稿。
4	同上	学内資料	同上	上記資料のコピー。資料③-4と同一。

⑥クラス規模・演習				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	1965/12/2	原稿	「類別講義制(補足), クラス規模の適正化と講義の複数建, 演習, 論文制度(附. 教授内容の基準)」	B4, 3枚。手書き原稿。星野筆跡(星野メモ3)。
2	同上	学内(配付用)	同上	B5, 8頁。上記資料をコピーしてホチキス留めたもの。2部ある。
3	1968/3/7	学内資料	「演習必修化の問題点」(来栖, 岡, 芦部, 村上)	B5, 12頁 タイプ。

⑦類別				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	不明	学内資料	「I 類別についての試案」	B5, 6頁, 手書き コピー。青ペンで書き込みあり。
2	不明	学内資料	法学部の類別・カリキュラム・学期区分案	B5, 26頁(ただし, 綴じ込みのB4サイズの表は, 1枚につき2頁分としてカウントした)。手書き コピー。「I 類別についての案」と「II カリキュラム」の部分は資料③-8と同一。2部ある。それぞれに手書きの書き込みや修正あり。
3	不明	学内資料	法学部の類別・講義時間案	B4, 11頁, 手書き コピー。上記資料から「II カリキュラム」「III 学期区分」がなくなり「IV 講義時間」が足されている。
4	不明	学内資料(下書きのコピー)	法学部の類別・カリキュラム・学期区分の案についての配付用資料の下書き	B5+B4, 13枚。手書き コピー。走り書き。
5	不明	学内資料	「類別制度の再検討」	B5, 12頁。手書き コピー。

⑧講義の適正担当量				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	1965/11/25	手書き原稿	「講義・演習の適正担当量」	B4原稿用紙3枚, 手書き。星野筆跡(星野メモ4)。
2	1965/11/25	学内(配布用)	同上	B5, 6頁。上記資料をコピーしたもの。3部ある。

⑨教養課程				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	1966/1/31	学内資料	「教養学部将来計画試案資料」	B5, 18頁。タイプ・手書き。
2	1968/2/1	学内資料(秘)	「法学部教育との関係における教養課程の問題点(坂本)」	B5, 4頁。タイプ。

⑩大学院				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	1965/5/13	学内資料	「I-1 学年延長の要否についての抜萃」	資料②-5と同じ。
2	1965/6/30	学内資料	「学年延長に関し残された問題抜萃」	B5, 1枚。タイプ。
3	1966/11/8	国立大学協会	「大学院設置基準の問題点に対する意見（東京大学）」	B5, 6頁。タイプ。
4	1967/3/18	学内資料	「年限延長案の比較表」	B5, 1枚。タイプ。
5	1967/4/28	国立大学協会	「大学院設置基準をめぐる所見（案）について 各国立大学長宛 第一常置委員会委員長 石橋雅義発」	国大協庶第66号。B4, 1枚, タイプ。
6	1967/6/15	手書き原稿	「大学院の問題点」	B5, 10枚。手書き（青万年筆）。星野筆跡。下記資料にコピーが綴じられている。
7	1967/6/15	学内（配布用）	同上	B5, 10頁。上記資料のコピー。
8	1967/6/29	学内資料	「大学院の問題点（団藤・福田・星野）」	B4, B5混合, 8枚をホチキス留めしてある。手書きコピー＋手書き原稿。配布資料は連名だが, 星野筆跡。（ 星野メモ6 ）
9	—	便箋		白紙便箋1枚。
10	不明	手書きメモ	「大学院問題」	ルーズリーフ2枚, 両面に手書き。
11	不明	手書きメモ	手書きメモ	原稿用紙6枚。鉛筆書き＋黒ボールペン。
12	不明	手書きメモ	手書きメモ	B5, 1枚。星野筆跡。青ボールペン。
13	1967/6/29	手書きメモ	方策委でとったメモ	B5, 3枚。星野筆跡。青ボールペン。
14	1967/7/8	法学部・経済学部資料（秘）	「経済学部との懇談についてのメモ（平野・加藤）」	B4, 2枚。タイプ。法学部と経済学部の6回にわたる懇談会（2月9日～6月27日）についてのまとめ。
15	1967/7/6	学内資料＋手書き原稿	「大学院の問題点（団藤・福田・星野）」＋手書き原稿	6/29版をタイプ打ちにしたもの（B5, 12頁）に星野筆跡の手書きの加筆用原稿が糊づけされている。
16	—	学校教育法	第五章「大学」中の52条から57条3項までのコピー	B5, 1枚 コピー。
17	不明	手書きメモ	手書きメモ	星野筆跡。封筒両面に書かれた手書きメモ。

⑪助手・大学院制度				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	1964/12/1	学内資料	「助手定員現員表」	B5, 1枚＋B5, 10頁。タイプ。手書きの書き込みあり。
2	1964/12/10	学内資料	「助手・大学院制度についての諸案（福田）」	B5, 20頁。タイプ。2部ある。
3	1965/5/6	学内資料	「助手について」	B5, 1枚＋B5, 6頁。タイプ。手書きの書き込みあり。
4	1967/7/6	学内資料	「大学院の問題点（団藤・福田・星野）」	B5, 16頁。タイプ。3部ある。
5	不明	学内資料	「大学院の改革についての私見（田中）」	B4, 2枚。手書き コピー。黒万年筆で手書きの書き込みあり。

6	1968/1/18	学内資料に 加筆修正メモ	「大学院の問題点（第三次） 団藤・斎藤・ 星野（福田）」	B5, 16頁。タイプ。7/6版に手 書きで第三次に向けて修正を 加えたもの。
7	1968/1/18	学内資料	「大学院の問題点（第三次） 団藤・斎藤・ 星野・（福田）」	B5, 12頁。タイプ。上記資料 を配布用に打ち直したもの。 3部ある。
8	1968/2/1	学内資料に 加筆修正メモ	「大学院の問題点 団藤・斎藤・星野」	B5, 12頁。タイプ。1/18版に 手書きで加筆修正を加えたも の。

⑫学生アンケート				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁、備考
1	1966/2/	学内資料	「成績分布調」	B4, 1枚。タイプ。手書きの書 き込みあり。
2	不 明	アンケート	「法学部教育に関する調査」	学生アンケート。B4, 17頁。 タイプ。
3	不 明	アンケート	同上	学生アンケート。B4, 上記資 料の13頁までのもの。
4	不 明	報告書	「法学部教育に関する調査報告 報告1 年 限延長に関する調査結果」	B5, 表紙+本文14頁。タイ プ。
5	不 明	報告書	「法学部教育に関する調査報告 報告1の (2) 年限延長とカリキュラム」	B5, 表紙+本文10頁。タイ プ。
6	不 明	報告書	「法学部教育に関する調査報告 報告2 類 別制度」	B5, 表紙+本文28頁+裏表 紙。タイプ。2部ある。
7	1965/5月	アンケート	「調査票 法学部政治コース懇話会」	B4, 1枚, 両面。手書きコ ピー。5月祭に発表するた めのアンケート。テーマは国際 問題など政治関連。
8	1965?	学内資料	昭和37～昭和40年の3月卒業生の就職状況表	B5, 4頁。タイプ。
9	1965/7/8	アンケート結果	「法学部教育に関する調査集計表（一部）」	B4, 2枚。タイプ+手書き コ ピー。アンケートは第四学年 在学生対象。
10	1966/11月?	緑会委員会 (以下, 緑会)	「法学部三年生案について」	タイトルは正しくは「三年 制」。B4, 4頁。手書き コ ピー。赤鉛筆で星野の筆跡に よる手書きの書き込み（コメ ント）あり。日付は、本文中 に12/2シンポジウムの案内が あることから推定。
11	1966/11/26	告知	平田発星野宛 緑会主催「法学教育改革のた め」のシンポジウム案内	B5, 1枚。手書き。宛先と署名 のみ直筆で、あとはコピー。 本文中に「緑会委員会作成資 料同封」とあり、資料⑫-10 のことと推測される。
12	1966/12/2?	手書きメモ	緑会シンポジウムにおいて学生の発言を書き 留めたもの	B5便箋2枚。青ボールペン。
13	1966/12/2	緑会	「法学部緑会委員会主催シンポジウム——法 学教育を改革するために」	B4, 1枚。タイプ。赤鉛筆で手 書きの書き込み（コメント） あり。
14	不 明	アンケート+結 果	「アンケート（本郷の学生生活）」	B4, 3枚。手書き コピー。1 枚目がアンケート、残りが結 果と総評。
15	1966/9月?	緑会	昭和41年度冬学期演習関係調査一覧表作成の ための教官への依頼	B5, 1枚。手書き コピー。 「冬学期開始（10月11日）と ともに学生に配布」するため 教官名・人員・題目・単位・ 資格につき同封の原稿用紙に 記載するよう教官に依頼して いる。

16	不明	学内資料	学生生活・就職・年限延長などに関するアンケート+結果	B4, アンケート2頁 (タイプ) + 結果34頁 (手書き コピー)。
17	不明	アンケート下書き	アンケートの下書き (推敲中のもの)	B5, 17枚。手書き コピー。
18	不明	アンケート下書き	同上	B4, 20頁。手書き コピー。

⑬カリキュラム資料				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁, 備考
1	不明	法学部規則等	法学部旧規則等のコピーを個人用に小冊子に仕立てたもの	文庫程度のサイズ。p. 13～p. 60までを抜き出したもの。
2	1965/7/8	学内資料	「現行年限の下でのカリキュラム修正のための討議資料」	B4, 1枚。手書き コピー。
3	1966/1/20	手書きメモ	学部長室での会議メモ。	B5原稿用紙, 1枚。星野筆跡。ボールペンの走り書き。
4	1966/6/2	学内資料	「カリキュラムに関するアンケートに対する回答——個々の科目についてのもの——」	B5, 6頁。タイプ。
5	1966/6/16	学内資料	「I-9 各学期に配当する科目数の限度」	B5, 8頁。タイプ。青万年筆で記入あり。
6	1966/6月?	学内資料 (訂正案内)	「カリキュラムに関するアンケートに対する回答——個々の科目についてのもの——」変更点	上記資料 (1966/6/2配布文書) についての訂正。B5, 1枚。手書き コピー。
7	不明	学内資料	「二・三年次のカリキュラム」+「四・五年次のカリキュラム」	B4, 6枚。手書き コピー。
8	不明	学内資料	「II カリキュラム試案」	B4, 5枚。手書き コピー。
9	不明	学内資料	「III 時間割作成見地からの参考資料」	B5, 10頁。手書き コピー。
10	不明	学内資料	「IV 試験について」	B5, 4頁。手書き コピー。
11	不明	学内資料	教授会用のカリキュラム資料	B5 (次回教授会についての案内) 1枚+B4資料4頁。手書き コピー。
12	1967/1/12	学内資料	カリキュラム試案	「カリキュラムについての試案」(B5, 4頁, タイプ), 「カリキュラム試案」(B4, 6頁。手書き コピー), 「3年カリキュラムにおける新設要望講義」(B4, 1枚。手書き コピー)+「教養課程で履修を希望する科目」(B4, 1枚。手書き コピー)の3種の資料がセットになっている。
13	不明	正誤表	「カリキュラムについての試案 正誤表」	B5, 1枚。タイプ。
14	不明	アンケート	カリキュラムについての学生アンケート	B4, 2頁。タイプ+手書き コピー。
15	不明	学内資料	「五年制の場合の法学部カリキュラムの例」	B5, 2頁, タイプ+B4の手書きの表2枚。
16	不明	法学部資料	「進学年度別授業科目配当学期及び学科課程改訂一覧表」	B5, 12頁。印刷冊子のコピー?
17	不明	学内資料	「新設講座を含む学期授業科目一覧表 (案)」	B4, 3枚 タイプ。
18	不明	東大規則	東京大学法学部規則のコピーを個人用に小冊子に仕立てたもの	新書程度のサイズ。p. 46～p. 59までを抜き出したもの。
19	不明	学内資料	「資料1 旧制時代のカリキュラム (旧規程・新規規程対照表)」	B5, 6頁。活字。何らかの冊子からp. 36～P. 41までを抜き出したもの。
20	不明	学内資料	「資料2 新制発足当時のカリキュラム」	B4, 4枚。活字。
21	不明	法学部資料	「資料4 現行のカリキュラム」表	B5, 4頁。印刷冊子のコピー (p. 56～p. 59)

22	不明	法学部資料	「資料5 進学年度別授業科目配当学期及び学科課程改訂一覧表」	B5, 12頁。⑬-16に「資料5」と付している。
23	不明	法学部履修案内	法学部の履修案内	B5, 4枚。活字。
24	不明	学内資料	「学期区分案」	B4, 4枚。タイプ。
25	不明	法学部資料	「新設講座を含む学期授業科目一覧表(案)」	B4, 4枚。⑬-17に手書きを含む1枚が追加されたもの。

⑭学生との話し合い				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁、備考
1	1966/12月?	緑会作成資料	法学部教育・年限延長・アンケート等についての学生からの意見など	B4, 11枚。手書き謄写版。一部両面に刷られている。本文中に昭和41年12月までの言及があることから、41年12月24日の緑会シンポジウム用の資料と推測される。赤ボールペンで書き込みあり。（「根本的姿勢の～」という書き込みがあるのはこの資料。）
2	1966/12/24	手書きメモ	緑会シンポジウムでのメモ	B5ルーズリーフ1枚両面。星野筆跡。走り書きのメモ。
3	1967	緑会作成冊子	法学部教育・年限延長についての学生からの要求	B5, 34頁。手書き謄写版。赤ボールペンで書き込みあり。日付は、冊子内の年表が昭和42年4月15日までをまとめていることから。
4	1967	緑会作成冊子	「法学部改革の問題点を探る。一明日の法学部を築く為に」	B5, 表紙+本文48頁+裏表紙。手書き謄写版。上記資料に内容を追加して表紙をつけたもの。赤ボールペンで書き込みあり。
5	1967/5/20	手書きメモ	五月祭シンポジウムでのメモ	B5ルーズリーフ1枚両面。星野筆跡。走り書きのメモ。
6	1967/5/20	手書きメモ	懇談会?でのメモ	B5ルーズリーフ1枚両面。星野筆跡。走り書きのメモ。
7	1967/5月?	緑会作成資料	「シンポジウム 法学部教育改革の方向と『年限延長案』—国民はどのような法律家を期待しているか」	B4, 1枚。手書き謄写版。討論の構成案。
8	—	ルーズリーフ	無記入ルーズリーフ用紙	B5, 3枚+8枚。
9	1967/5月?	緑会作成資料	「法学部企画シンポジウムについての御案内 法学部教育の改革と『年限延長案』—国民はどのような法律家を期待しているか」	B4, 2枚。手書き謄写版。日付は、本文中に5月20日のシンポジウムの案内が書かれていることから。赤ボールペンで書き込みあり。
10	1967?	手書きメモ	学生と教授の質疑・意見を書き取ったメモ	B5便箋2枚。青ボールペン。
11	1967/2/13	アンケート結果	「大小クラス制についてのアンケート 42. 2. 13実施（最終講義出席者の回答）」	B4, 4枚。手書き コピー。1枚目に「星野様」とある。日付はアンケート実施日。
12	不明	緑会配布物	「卒業を記念して 教授の話聞く会」案内	B5, 1枚。手書き謄写版。「本日午後二時より 於 二十一番教室」とある。手書きの記入あり。
13	1966/12月?	緑会名簿	「41年度後期緑会委員会委員名簿」	B5, 1枚。タイプ? 41年12月から42年5月まで有効の名簿。
14	不明	手書きメモ	カリキュラムについての手書きメモ	B5原稿用紙3枚。
15	不明	手書きメモ		B5原稿用紙4枚。
16	不明	履修案内	カリキュラム吟味のため、履修案内のコピーにメモを書き入れたもの	B4, 2枚。
17	不明	手書きメモ	学生発言を書き取ったもの（ジュリスト座談会の準備メモ?）	B5便箋2枚。
18	不明	手書きメモ		B5原稿用紙1枚。

⑮国立九大学法学部シンポジウム				
	日付	資料の種類	タイトル・内容	体裁、備考
1	不明	星野宛礼状	「おかげさまで第一回から揃えることができました」という内容の星野宛の礼状	B5, 東大法学部便箋1枚。手書き。
2	1967/5/11	議事要旨	「九大学法学部シンポジウム議事要旨」	B5, 要旨4枚+手書きメモ1枚+無記入ルーズリーフ1枚。要旨は手書きコピー。
3	1967/5/11	議事要旨	「九大学法学部シンポジウム議事要旨」	B5, 6頁。上記資料の要旨をタイプして配付用にまとめたもの。ホチキス綴じたもののほかに、4頁までのもの(コピーの余り?)がある。
4	1967/11月?	出席者リスト	「昭和42年11月25日(土)シンポジウム出席予定教官」	B5, 1枚。手書き コピー。第2回シンポジウムの東大以外の大学からの出席予定者リスト。
5	1967/11/25	議事要旨	「第2回『法学部教育についてのシンポジウム』要旨」	B5, 4頁。手書き コピー。日付は開催日。開催地は東大。
6	1968/3/22	開催案内	京大法学部長発の次回シンポジウム開催案内(東大法第161号)	B4, 1枚。タイプ コピー。案内の開催日は昭和43年6月1日。開催地は国立京都国際会議場。
7	1968/5/17	開催案内	同上, スケジュール詳細。(東大法第800号)	B4, 1枚。タイプ コピー。
8	1968/6/1	シンポジウム配付資料	「第三回国立九大学法学部教育課程シンポジウム」	B4, 4頁。手書き コピー。議題と出席者が記載されている。
9	1968/6/1	議事要旨	「第3回『国立九大学法学部教育についてのシンポジウム』要旨」	B5, 4頁。タイプ。日付は開催日。
10	1968/10/25	開催案内	一橋大学法学部長発の次回シンポジウム開催案内	B4, 1枚。タイプ コピー。青鉛筆で「星野教授殿」「写」とある。案内の開催日は11月16日。開催場所は如水会館。なお、本文中に「7月19日付をもってご案内いたしました」とあるが、該当する資料は収録されていない。
11	1968/11/16	シンポジウム配付資料	「第四回国立九大学法学部教育課程シンポジウム」	B4, 1枚。タイプ。議題と出席者が記載されている。
12	1970/11/9	開催案内	神戸大学法学部長発の次回シンポジウム開催案内	B4, 1枚。タイプ コピー。開催日は11月27~28日。開催地は神戸大学。なお、本文中に「さきに10月29日付をもって御案内申し上げました」とあるが該当する資料は収録されていない。
13	1970/11/27	シンポジウム配付資料	「国立九大学法学部教育課程シンポジウム資料 昭和45年11月27日~28日 当番校 神戸大学法学部」	B5, 6頁。タイプ。出席者と、配付された各大学の法学部規程などについてまとめている。
14	1970?	シンポジウム資料	「シンポジウム開催一覧」	B5, 1枚。タイプ。第1回~第5回までの主催大学と日程を一覧にしたもの。
15	1975/4/18	送り状	阪大法学部長発 シンポジウムのテーマについてのアンケート送り状(東大法第645号)	B5, 1枚。タイプ コピー。
16	1975/4/18	アンケート	「大学院教育について」のアンケート	送り状(上記資料と同じもの)+アンケートB5, 6頁。タイプ。

17	1975/5/19	開催案内	阪大法学部長発 シンポジウム開催案内	B5, 3枚 (通知+スケジュール+地図) タイプ+手書き。開催日は7月11日～12日。開催地は「なにわ会館」。
18	1975/7/11	シンポジウム配付資料	「国立九大学法学部教育課程シンポジウム資料 昭和50年7月11日(金), 12日(土) 開催校 大阪大学法学部」	B5, 12頁。タイプ。青ペンで書き込みあり。なお、阪大主催は第10回で、星野資料には第6～9回の資料は収録されていない。

以 上
最終更新日 2016.12.7